

# OKINAWA DARC MESSAGE QSK

沖縄ダルクからのメッセージ 2022年 No.190



## BUTTERFLY HEART

厚生労働省の依存症を理解を深めるための普及啓発事業で、依存症への理解が広がり、治療・回復支援の輪が広がっていくことを願ってのピンバッチです。回復には、つながりが欠かせない事で、ハートがつながる形になっているピンバッチです。

## INDEX

- スタッフ挨拶 三島 P1
- 理事交代の挨拶 佐藤 P2
- 理事交代の挨拶 八木 P3
- 仲間たちの体験談 P4
- 仲間たちの体験談 P5
- スマイルつながるプロジェクト P6
- 活動報告 / 活動予定 P7
- 今月の献金 / 品 P8

## 発行元

九州障害者定期刊行物  
福岡県福岡市博多区千代  
4-29-24 三原第3ビル3F

## 編集

沖縄ダルク



## スタッフ挨拶 STAFF GREETING

皆様、新しい季節がやって参りました。いかがお過ごしでしょうか？金武クラシオンでは、変わらず笑いとユーモアを持ち寄り仲間達と賑やかな生活を送らせて頂いております。また、今年目標を再確認し、新年度への期待を膨らませております。

先日、「有難い」と「無難」についての話を伺いました。御存知の方も多くいらっしゃると思いますが、「難がある事が、有難い」「難が何もない事が、無難」と。簡単な解釈では御座いますが、この様な内容であったと思います。生きていく中で、楽しい事ばかりではない事は当たり前の事です。向き合えない出来事、逃げ出したくなる場面、諦めてしまった瞬間…沢山の「難のある」出来事が、降り掛かります。それでも、今日と云う日を心穏やかに笑って過ごす事が出来ているのは、何よりも、一緒に過ごしてくれた仲間達のお陰様です。

皆さんは「難がある事」をどう感じるでしょうか？私は、避けたい気持ちが未だに残っております。しかし、「有難い」と受け止めて、感謝して、沢山の「ありがとう」を伝えられる人間に変わりたいと思っております。

新年度も感謝の気持ちと希望を持って過ごせる様『今日一日を仲間と共に』変わらず過ごして参りたいと思います。

新年度も、依存症からの回復施設の役割を持って、社会の一助になれるよう精進致します。

サービス管理責任者 三島 一太郎

# 代表理事就任のあいさつ

皆さまこんにちは。この度一般社団法人沖縄ダルクの代表理事に就任致しました佐藤です。私は13年前に沖縄ダルクに繋がり、プログラムを受けました。アディクションが最盛期の20代中盤では、もはや人生を諦めていました。しかし、ダルクの仲間の中にいるだけで薬が止まり、生きる気力を取り戻し、大学を卒業して国家資格を取得したり、家族を与えられたりしたことは、自分にとって奇跡が起きたとした言い様がありません。ダルクに命を救われたことは紛れもない事実です。そして私に新たな人生を与えてくれた沖縄にも感謝しています。

そんな私が、今度はダルクを牽引していく立場になりました。しかし、決して私1人の力だけではなく、スタッフや仲間たち、そして長きに渡りご支援してくださった皆様や地域の温かい受け入れがあり、それが土台となっていることで、今の私が在ると思っています。

沖縄ダルクはダルク創設者でもある近藤さんが開設し、その後沢山の仲間が沖縄ダルクから巣立ち、全国にダルクを展開していきました。沖縄ダルクを卒業した先行く仲間たちに恥じぬよう、気を引き締めて舵取りしていこうと思います。あまり気張りすぎると良くありません

が、幸いなことに周りにはたくさんの方の仲間たちに囲まれています。どんなことが起きようとも、仲間がいれば何とかなると思えることは、私にとって最大の財産でもあります。

これからの時代はさらに多様性と不確実性が高まり、いくらでも変化していくことが可能となる一方で、そんな時代だからこそ先行く仲間が創り上げてきた「ダルクらしさ」を今一度振り返ることが、より大切なことになってくると私は感じています。

これからも、沖縄ダルクの活動を支えてくださいますよう、心よりお願い申し上げます。



一般社団法人 沖縄ダルク 代表理事

佐藤和哉

Kazuuya Satou

# 代表就任のあいさつ

皆様こんにちは。この度伝統有る沖縄ダルククレアドールの代表に就任いたしました、八木史晃（フミ）と申します。

主にクレアドールはハウスの運営、そして初代近藤さんから受け継がれるダルクとしての伝統を大切に、日々仲間と共に歩いて行く所存です！

私自身、沖縄に繋がったのが9年前のことです。今までの人生とはまるで違う世界、人を受

け入れる事が出来、感謝する気持ちが養われ、安心して、少しずつではありますが前を見て生きて行く事が出来るようになって来た次第です。それも前任森（影虎）の優しさの中にあるのではないかと思います。

これからダルクをやって行くにあたり、伝統的な依存症の仲間をリスペクトし、今の時代の依存症、そしてライフスタイルを理解し分かち合い、その後に

続く仲間達とも同じ様に今日一日で歩いて行こうと思います。

これからも、沖縄ダルク全体の活動ご支援ご理解のほど、心よりお願い申し上げます。

八木史晃

沖縄ダルク・クレアドール 代表

Fumiaki Yagi



沖縄市

# 仲間たちの体験談

三度目の施設入寮を  
くり返してアッハ

**自**分はアルコール依存症で今施設の方で、自立訓練を受けています。

初めて、このダルクという施設に入所したのは四年前になります。

最初の頃は不安でいっぱいでしたが、先行く仲間達に助けられて、少しずつ施設での生活にも慣れていき、プログラムにも前向きに取り組めるようになっていきました。

回復のプログラムの中でミーティングやボランティアやエイサー、色々なプログラムを通していき、社会復帰や回復について学んでいます。

自分はネガティブな性格で、自分に自信が持てませんでした。

ですが、先行く仲間からエイサーを教わり、最初はキツかったけど、くじけずに練習してデ

ビューする事が出来ました。本番に何度も披露するにつれて自分に自信が持てる事ができました。

ですがクリーン、一年を迎える前に人間関係のトラブルで自分は施設を飛び出してしまいました。

それから一年半程、仕事をしながら社会生活を過ごしていましたが、連続飲酒でボロボロになって二度目の施設生活を送る事になりました。

ですが自分は二度目の施設生活は早く社会復帰がしたい気持ちがあって、四ヶ月で施設を出ていきました。

それでも、すぐに酒に溺れてしまい、施設に今回三度目の入寮をする事になりました。

何度も失敗を重ねて来た事により、自分の依存症という病気に対する考えが甘かった事を、今はとても実感しています。

家族や友人や職場や施設の仲間、たくさん迷惑をかけてきた事を後悔しています。

今回三度目の施設生活を送る中で、今までとは違った形での回復を見つけプログラムを通して仲間との助け合いの中で自分にあった回復の仕方、そして仲間や自助グループと繋がりを持って、ミーティングに参加をする。社会に出てもNAやAAに参加し続ける事を、この施設で焦らずに、ゆっくりと学んで行きたいです。

今は一年四ヶ月のクリーンが続いていき、少しは自信が持てるようになってきました。次は二年目のクリーンを目指していきたくです。今回の施設生活がラストチャンスという気持ちで、新しい生き方が出来るように自分に負けないよう頑張っていきたいと思いま

# 仲間たちの体験談

# 沖縄市



**自**分は10代の頃から、薬物を使い始めました。大麻や覚醒剤を友達や仕事の先輩と使用するようになりました。

仕事はカジノでのディーラーや飲食店などをしていました。

初めは友達や仕事の先輩と薬物を使っていましたが、だんだんと一人でも使うようになりました。

仕事で貯めたお金で外国に旅行に行き、そこでも大麻や覚醒剤を買って使いました。インドやメキシコ、ネパール、タイなど、様々な国を旅しました。

旅行では沢山の人に出会い一緒に大麻などを使い、レイブパーティーなどに行き、大麻を使用しました。ネパールでも大麻を使い、ヒマラヤに登ったりしました。薬物を使っていた頃の自分は恍惚感に溺れ薬物ばかりを求め、

ほとんど一人でいました。

外国では、ゲストハウスを転々としながら生活をしていました。

いろいろな国の人達に会いました。いろいろな薬物を使いました。

ダルクに来る前、26才の頃に警察に捕まりました。友達や家族に迷惑をかけました。そこから薬物を使うのをやめました。

大麻で捕まり、カジノの仕事中に覚醒剤を使い、職場の人にも迷惑をかけ、薬物を使っていた為、仕事も続きませんでした。

ダルクに来る前、ゲストハウスで10ヶ月ほど生活もしましたが、そこでも生活出来なくなり、ダルクに繋がりました。自分はダルクに繋がりが7年になります。

今では薬物を使いたい欲求もなく、毎日楽しく生活出来ています。沖縄ダルクに繋がって仲間と

回復を目指して日々ミーティングやエイサーなど、いろいろな事に挑戦してやっています。

薬物を辞めて良かったと本当に思います。これからも薬物を使わない生き方を学んで生活して行きたいです。

仲間と頑張って回復をして、クリーンを続けていって、人生を楽しくして行きたいと思います。

ダルクに繋がる事が出来て本当に良かったと思います。



楽しむ・つながる・参加する

# スマイルつながるプロジェクト



「楽しむ・つながる・参加する」をコンセプトに『スマイルつながるプロジェクト』の活動を始めています。地域や人、体験とつながる活動を紹介します。

## 金武 沖縄銀行金武支店での展示会

沖縄銀行金武支店で、書道とコラボのひな祭り展示会を開催しました。金武支店での展示会は、今回で2回目になりますが、皆さんからとても好評で来店するお客様にも喜んでもらっているそうです。次回は、端午の節句展示会を予定しています。



元々、自分は物作りが好きでした。けれど、施設に入る前の自分は、アルコールの影響で大好きな釣りの仕掛けすら作れなくなる程、手が震えてました。プログラムでクラフトがあると聞いて、9割楽しみにしていたけど、残り1割は昔の事を思い出して不安もありました。奉納用の折り鶴、贈答用のカゴ作り、展示会用の造花作りなど、沢山の作品を作り楽しませて貰っています。

ダイゴ



## 宜野湾 社会へ一歩踏み出す子供たちへの卒業おめでとうプレゼント

宜野湾市社会福祉協議会のボランティア活動助成金活用事業「社会へ一歩踏み出す子どもたちへの応援プレゼント」として大謝名小学校を卒業する6年生の児童のみなさんへ、手作りのかごをプレゼントしました。大謝名小学校玉村校長からは「区切りの時期に、いろんな団体に支えてもらっていることを感じる事ができてよかった」6年生担任：謝花先生「六年生の保健体育の授業の中で、薬物やアルコール防止についての学習をしたところでした。県内の高校生による薬物事件の状況も含めて、今日の会を受けて子どもたちも身近に考える場となったと思います。」児童「思っていたよりもしっかりしていて、手作りとは思えないカゴでとてもうれしいです。」「うれしい。カード入れにしたいと思います。中学校では勉強を頑張りたいです。」とそれぞれうれしい声もいただきました。去年から続けている私たちの活動が、薬物やアルコールについての正しい理解と、困ったときに相談できる場所があることを知ってもらえればと思っています。

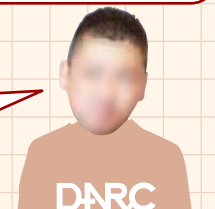


3月18日に、大謝名小学校の卒業生に、DARCの皆で作った。カゴと立体方の手紙を手渡しに行かせてもらいました。元気で明るく今も昔も子供達はなにもかわらない、真白な感がして、ちょっと、自分の方が緊張してしまいとまどってしまいました。でも、それを吹きとばす位自分達がプレゼントをわたくし、受けとった時の「ありがとうございました」の卒業生の皆の声が大きく明るく元気で自分の方がうれしく感じてしまいました。

カーツ

卒業おめでとうございます。新生活はいろいろ大変だと思っけれども頑張ってください。私は施設に入ってもうすぐ4ヵ月になりますがまだまだわからない事だらけです。みんなと楽しく生活しながら自分のやりたい事や継続していける趣味的なものを見つけたいと思います。カゴ作りはムズかしかったです。でも楽しかった。

ツヨシ



## 3月16日から4月15日 活動報告

### 3月

日	時	内 容 / 場 所
◆毎週金曜日◆		宮内一郎トーク&トークSHOW収録 ..... 宜野湾シティ FM
17日（木）		オンライン講演 ..... 地域包括支援センター

### 4月

日	時	内 容 / 場 所
◆毎週金曜日◆		宮内一郎トーク&トークSHOW収録 ..... 宜野湾シティ FM

（コロナウイルス感染拡大防止の為、イベントキャンセルや自粛により確定しているものが上記しか有りません）

## 4月16日から5月15日 活動報告

### 4月

日	時	内 容 / 場 所
◆毎週金曜日◆		宮内一郎トーク&トークSHOW収録 ..... 宜野湾シティ FM
29日（金）		エイサー本番 ..... ダブルツリーヒルトン

### 5月

日	時	内 容 / 場 所
◆毎週金曜日◆		宮内一郎トーク&トークSHOW収録 ..... 宜野湾シティ FM

（コロナウイルス感染拡大防止の為、イベントキャンセルや自粛により確定しているものが上記しか有りません）

## 週間プログラム・ボランティア

日	時	内 容 / 場 所
◆毎週火曜日◆		ヨガ教室 【男性】（金武町保健センター）
◆毎週木曜日◆		ヨガ教室 【男性】（宇地泊公民館）

## 沖縄ダルク家族の会・家族教室

—ご家族の依存症問題にお悩みの方は是非ご参加下さい—

日 時：毎月第二土曜日  
 ：奇数月 ▶ 家族会・偶数月 ▶ 家族教室  
 場 所：沖縄ダルク サントゥアリオ  
 お問い合わせ先：098-943-8774（佐藤）



## 編集後記

新年度も始まり沖縄では暖かい日が続いております。新しい年度も仲間達が海やレクリエーションで楽しんでいる活動がお届けできればと思います。

生活支援員 岸本 裕樹



沖縄ダルク



<http://okidarc.or.jp>



facebook

でも活動の様子をご覧になれます。

沖縄ダルククレアドール



沖縄ダルクサントゥアリオ



# 感謝

沖縄ダルクへの献金・献品を頂き誠に有難うございます。心より感謝申し上げます

3月1日～3月31日到着分の献金

合計 **¥289,650**

(株) 沖縄歯科器材・長久保江世・富田安世・玉城志保・仲谷三好・武村福美・宜野座哲・  
荻野恵美子・小野里欣子・小野里篤美・坂本純子・江原二郎・  
有限会社ピナクル代表取締役屋宜孝・ヒューバー和恵・中村綾子・中村澄子・蔵根尚美・  
知念・安田桐枝・大澤系太・ROBERT 片本恵利 KAWAI・スズキエリ・カワイリカ・  
北谷町厚生保護女性会・沖縄ダルク家族会・南城市厚生保護女性会・  
与那原町厚生保護女性会・小松知巳・聖心の布教姉妹会・岸本管志・首里アンデレ教会・  
宮古修道院・宗教法人聖マリアの汚れなき御心のフランシスコ教会・森下幸子・  
ナリタケヨシタカ・加藤郁雄・沖縄県保護司連合会・宮崎孝・  
・その他多数の匿名の方（順不同・敬称略）

3月1日～3月31日到着分の献品

北谷町更生保護女性会・鳥八亭・榎本太郎・垣花つよし・太田・  
その他多数の匿名の方（順不同・敬称略）

## 献金はカード決済の他、下記銀行からのお振込みも可能です

■ゆうちょ 記号：17040 番号：12632141  
銀行 店番：708 普通：1263214  
店名：七〇八（ナナゼロハチ

■琉球 大謝名（オオジャナ）支店 店番508  
銀行 普通：485858  
店名：七〇八（ナナゼロハチ

■沖縄ダルクを支援する会 ① 沖縄ダルクホームページを検索 ② ご寄付・ご支援のお願いをクリック  
③ 内容のご入力をお願いします。（ご不明な点等ございましたら 担当岸本まで）



# 沖縄ダルク

編集 沖縄ダルク 発行 九州障害者定期刊行物協会  
〒901-2225 沖縄県宜野湾市大謝名 2-2-10 ABS大謝名ビル4F  
(098)943-8774 (098)943-8281 daycare@okidarc.or.jp  
http://okidarc.or.jp ¥100円（会費に含む）  
郵便振替口座 01770-1-142380  
沖縄ダルクを支援する会 福岡県福岡市博多区千代4-29-24 三原第3ビル3F